

福祉 ぐんま

NO.255
2016 冬号



社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会



■主な内容

- *特集 『平成27年9月関東・東北豪雨災害』の支援活動から…2～3
- *平成27年度関東ブロック都県・指定都市社会福祉協議会会長会議開催…3
- *年頭のおあいさつ…4
- *平成27年度介護支援専門員実務研修受講試験結果…4
- *権利擁護セミナーのお知らせ…4
- *ぐんま子育て支援フェスタ開催のご案内…5
- *苦情解決セミナーのお知らせ…5
- *ボランティア情報…6
- *生活困窮者自立支援事業の取り組みについて…7
- *素敵な笑顔…7
- *福祉人材確保就職面接会、ミニ就職面接会のお知らせ…8

社会福祉法人 はるな郷 あすなる雑勤務
小平 恵彦さん
(関連記事は7ページに掲載)

「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。

「平成27年9月関東・東北豪雨災害」の支援活動から



近年、全国各地で様々な災害が多発している状況にあります。

特に東日本大震災では、広域にわたり被害を受け、現在も復興活動が進められています。

また群馬県においても、台風による竜巻被害、大雪災害、突風災害などにより、被害を受けた地域も発生しました。

この度の台風18号は、隣県の栃木県、茨城県に甚大な被害を与え、多くの方に被災という新たな生活課題をもたらす結果となりました。

社会福祉協議会（以下、社協）では「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を推進している立場から、日頃から生活課題を抱えた地域の方々に寄り添いながら解決に向けてのお手伝いをしてきました。

これは災害の発生によって生活課題を抱えてしまった方についても同様に関わっていく必要があります。こうした意識をいっそう高めていくことから、県社協としても県内の市町村社協と連携しながら、災害ボランティアセンター（以下、災害VC）へのコーディネーターの派遣、ボランティアバスによる支援活動等を行いました。

今後は県社協としては、市町村社協との連携を強め、本県で発災した時のイメージを持った上での実践力の強化に努めていきます。



▲ボランティアバスによる支援の様子 写真提供：上毛新聞社

栃木県の状況

被害の大きかった栃木市、鹿沼市、日光市及び小山市の4市の社協にて「災害VC」を立ち上げ、被災された方への支援活動を行いました。

現在は、4市の社協「災害VC」による復旧支援の活動についてはほぼ終息しています。

今後は、生活再建に向けた支援活動を、平時の地域福祉活動と併せて行いながら、継続して住民に寄り添い、復興へ向けて歩んでいく予定です。



▲家屋周辺の清掃

茨城県の状況



▲床下の泥出し

被害の大きかった常総市、つくば市、境町の3市町社協にて「災害VC」を立ち上げ、被災された方への支援活動を展開しました。

つくば市災害VCは10月13日に閉所、境町災害VCも12月28日に閉所しました。

常総市災害VCは、発災から約2か月が経過した11月16日から「常総市社協地域支えあいセンター」へ移行し、災害ボランティア活動の調整も行いながら、被災された方々の生活に寄り添う生活支援対応への活動を中心に取り組んでいます。

群馬県社協としてかかわってきたこと



▲災害 VC でのマッチングの様子

群馬県社協では、発災後、県内の市町村社協と連携しながら、『関東ブロック都県・指定都市社協の災害時相互支援協定』に基づき、栃木県小山市、茨城県常総市へボランティアコーディネーターの派遣を行った他、栃木県栃木市、常総市へボランティアバスを送り、被災者への支援活動を行いました。

また、市町村社協からも多くのボランティアバスによる支援活動を展開いただきました。

これからもできること

被災地の社協では地域福祉の視点から、被災者に寄り添っての見守りや相談活動、サービス利用の橋渡しなどの個別に支援を行っている他、サロン活動などによる仲間づくりやコミュニティーづくりなどの地域支援を統合的に展開し、生活復興や地域再生に向けた活動を行っています。

このような中で、被災地の社協に寄り添いながら、新たな地域づくりを一緒に考え、それぞれが出来ることで、活動に長くかかわれるグループや団体の協力が求められています。

私たちの地域に置き換えた場合、日頃から地域でのつながりを強める活動の他に、隣接地域や周辺地域との交流の機会を設けていくことも大切な取り組みになるのではないのでしょうか。



▲学生のグループによる石窯焼きピザの提供

平成27年度 関東ブロック都県・指定都市 社会福祉協議会会長会議開催

生活困窮や社会的孤立等の福祉課題が増大し、社会福祉協議会（以下、社協）を取り巻く環境は社会福祉法人制度改革を含め、より一層の社会的役割を積極的に果たしていくことが求められている中で、平成27年10月23日に高崎市にて関東ブロック内の都県・指定都市社協の会長等が一堂に会し、標記会議を実施しました。

台風18号による被害に対する支援活動を継続している中、栃木県社協、茨城県社協より活動の状況報告をいただきました。

また、社会福祉法人制度改革に向けた社協の対応や「関東甲信越静ブロック都県指定都市社協災害時の相互支援に関する協定」の改正案等について協議し、今後の都県・指定都市社協のあり方等を検討していく機会となりました。



年頭のごあいさつ



社会福祉法人
群馬県社会福祉協議会
会長 片野 清明

新年明けましておめでとうございます。皆様には、平成28年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、群馬県社会福祉協議会は昭和26年3月の誕生から65年目を迎え、前期高齢者の仲間入りいたします。

現在、団塊の世代がすべて後期高齢者となる平成37年を当面の目標に、持続可能な社会保障制度の構築にむけて、福祉をはじめ医療や介護など私たちの生活に欠かせない制度や仕組みの見直しが行われています。県社協では、これまで以上に市町村社協はじめ社会福祉事業関係者や行政など多くの皆様とともに、改革の土俵である地域における福祉の推進をしっかりと担ってまいりたいと考えております。

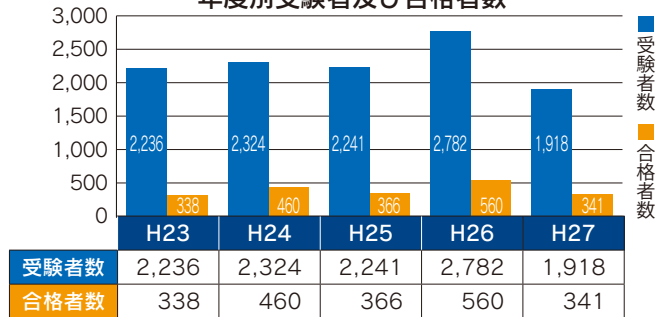
さて、東日本大震災からまもなく5年になります。その復興も未だしの感がある中で、昨年9月には、栃木県や茨城県に大きな被害をもたらした関東・東北豪雨が、多くの県民の皆様被災地支援に参加していただきました。あらためて感謝申し上げますとともに、災害への対応は「備えつつなお愛う」姿勢が求められていると感じたところです。

結びに、県社協は、「県民だれもがともに支え合い、住み慣れた家庭・地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉社会」をめざして、皆様とともにこの一年を歩んでまいりたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成27年度群馬県介護支援専門員実務研修受講試験 - 県内4会場で実施 -

- 実施日 平成27年10月11日(日)
- 会場 前橋工科大学 他
- 受験者 1,918名
- 合格者数 341名
- 合格率 17.8%

年度別受験者及び合格者数



本会では、平成19年度より群馬県の委託を受け、また、平成22年度より指定試験実施機関として、群馬県介護支援専門員実務研修受講試験を実施しています。

この試験は、介護支援専門員の養成にあたり、介護支援専門員実務研修を受講する前段として、事前に必要事項を確認する必要があること、介護支援専門員は、介護保険に規定された専門職として、要介護者や家族からの相談に応じ、要介護者が自立した日常生活を営めるように、本人や家族の意向、心身の状態等を勘案し、サービ

ス計画(ケアプラン)を作成します。また、ケアプランの策定後は、要介護者や家族の状況に応じてケアプランの変更・修正を行います。

この試験を受験できる方は、保健・医療・福祉の分野で、原則5年以上の対人援助業務を経験した方が対象となります。

本年度は、10月11日(日)に実施し、1,918名が受験し、341名が合格しました。

(合格発表日 12月10日)

合格者には、今後実務研修修了後、介護現場で良質なサービス提供に向けて頑張ってもらいたいと思います。

開催します 権利擁護セミナー

認知症高齢者や障がい者等が抱える課題を関係機関等とのネットワークにより解決していく方策を探ることを目的とします。

【日時】 平成28年1月22日(金) 13:00~16:00

【会場】 群馬県社会福祉総合センター 8階大ホール 前橋市新前橋町13-12

【内容】 ○講演「地域で安心して生活していくために

～日常生活自立支援事業・成年後見制度の視点から～

講師 和泉短期大学児童福祉学科 教授 鈴木 敏彦氏

○様々な福祉関係者によるパネルトーク

テーマ「分野を超えた福祉職の連携について～権利擁護相談事例集から～」

【参加費及び定員】 参加費 無料 定員 300名(先着順)

【問い合わせ先】 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 TEL027-255-6226

平成27年度 ぐんま子育て支援フェスタ開催のお知らせ

ぐんま子育て支援センター連絡会と群馬県社会福祉協議会は、「つながれ 広がれ 子育て支援の輪」をテーマにぐんま子育て支援フェスタを開催いたします。

日時 平成28年2月20日(土) 14時開演
会場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール
(前橋市新前橋町13-12)

内容 ①「笑える！遊べる！あそびうた（仮題）」
出演：鈴木 翼 氏
②子どもたちが喜ぶ手作りおもちゃ展

入場料 無料

参加申込 事前に申込みが必要です。施設福祉課までご連絡ください。

問い合わせ 施設福祉課 TEL：027-255-6034



鈴木翼 氏 プロフィール：

保育者向け講習会のほか、保育雑誌への執筆、親子コンサートや保育園や幼稚園、子育て支援センターなどであそび歌ライブを行っている。

NHK BSプレミアム「みんなDEどーもくん」に出演。2013年4月からNHK BSプレミアム「おとうさんといっしょ」の遊びや歌の提供BSフジ「モジーズ&YOU」レギュラー出演など活動も広がっている。



(c)藤田修平

◎子育て支援センターとは

地域の子育て家庭に対する育児支援を行う施設。地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、子育て家庭の支援活動の企画・調整・実施を担当する職員を配置して、子育て家庭等に対する育児不安についての相談指導や子育てサークルへの支援、家庭的保育を行う方への支援等を行っています。

平成27年度 苦情解決セミナーのお知らせ

社会福祉事業の経営者には、利用者の権利擁護と福祉サービスの質の向上を図るため、福祉サービスの利用者等から寄せられる苦情に適切に対応し、解決することが義務づけられています。

本セミナーは、各事業者の苦情解決事業への一層の理解と、苦情解決体制の整備・充実等について研鑽を深めることを目的に実施します。

【日程】 平成28年2月8日(月) 13:30～16:00

【会場】 群馬県市町村会館 2F・大研修室 〒371-0846 前橋市元総社町335-8

【内容】 テーマ：『苦情発生時の初期対応の留意点とポイント』

講師：弁護士／明治大学法科大学院 教授 平田 厚 氏

【対象】 社会福祉法第2条に規定される社会福祉事業を行う施設の苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員等

【参加費及び定員等】 参加費：1人・1,000円

定員300名（※先着順、定員となり次第、〆切）

【問い合わせ先】 群馬県福祉サービス運営適正化委員会 事務局 TEL:027-255-6669

※詳細は、群馬県社会福祉協議会ホームページ (<http://www.g-shakyo.or.jp/>) を参照してください。

Hello! ボランティアセンター

社会福祉法人 吉岡町社会福祉協議会

ボランティア情報

吉岡町社会福祉協議会では、ボランティアによる配食サービス事業や移送サービス事業を実施しています。配食サービス事業では、一人暮らしの高齢者等に毎週月曜～金曜にお弁当を届けています。月・木は社協の個人ボランティアがキッチンハウスみやまのお弁当を届け、火・水・金は吉岡町ボランティア協会の協力を得て、交代で調理から配達まで行っています。また、お弁当の配達時には利用者様の体調を確認し、安否確認を行っています。



配食サービス事業の様子

移送サービス事業では、高齢者や障がい者の方で、近隣の病院や買い物に行く際、公共交通機関を利用することが難しい方に対し、送り又は迎えを行っています。

このように、ボランティアによる住民同士の支えあいを推進しています。一方でボランティアの高齢化や人材確保が課題になっています。サービスを必要とする人は増え、それらのニーズも多様化している今、社会福祉協議会として、ボランティア活動に関する支援や育成の事業にさらに力を入れ、互いに助け合い、誰もが住みやすい町づくりの実現を目指していきたいと思えます。



移送サービス事業の様子

社会福祉法人 吉岡町社会福祉協議会
 〒370-3604 北群馬郡吉岡町大字南下1333-4老人福祉センター内
 TEL 0279-54-3930 FAX 0279-54-3673

ボランティアコーディネーター基礎研修会を開催しました

県内の市町村社会福祉協議会や中間支援センター等においてボランティア・市民活動支援業務に従事する担当職員を対象に、支援力のスキルアップを図ることを目的に「ボランティアコーディネーター基礎研修会」を開催しました。

第1回は「ボランティア・市民活動支援について学ぶ」というテーマのもと、ボランティア・市民活動支援についての基礎や心構え、ボランティアコーディネーション、マネジメントなどの基礎的な理念から具体的な実践のノウハウまで、講義や演習を交えて学び、第2回は「話し合いをもっと楽しく!」というテーマのもと、立場や役割の異なる参加者から、多様な意見やアイデアを引き出し、楽しく意見をまとめていく場をつくり出す手法「ファシリテーション」の基礎について、講義やワークショップを通して学びました。



第1回研修会の様子



第2回研修会の様子

生活困窮者自立支援事業の取り組みについて

太田市社会福祉協議会は自立相談支援事業を平成27年4月に太田市から受託し、自立相談支援センターの運営を開始しました。

当センターは、所長、社会福祉士資格を持つ主任相談支援員、相談支援員各1名と生活福祉資金担当3名の計6名体制で運営しています。

支援員は、様々な生活上の課題を持つご本人と共に、課題を解決するために必要な様々な支援方法を考え、ご本人自らが支援方法を選択決定できるようにご本人に寄り添いながら支援することを目的としています。

併せてご本人への支援方法を検討したり実施する中で、地域での助け合いの関係を創ることも目的としています。

当センターの特徴としては、窓口を市役所内に設置したことです。これにより、ご本人の課題解決のための庁内担当部署の連携をスムーズに行えるようにしています。

特に連携を図ることが多い社会支援課の隣に設置し、社会支援課担当者、生活福祉資金担当者、支援員との連携を行いやすい環境となっています。

また、支援員は、ご本人への支援方法を充実させるために、庁内の連携にとどまらず、地域にある専門機関や団体等とも連携を図ります。当センターも地域にある社会資源の一つと位置づけ、地域包括支援センターが開催する地域ケア会議や地域にある専門機関や団体等が開催する会議に参加することで、多機関多職種での連携をスムーズに行うことができるよう努めています。

太田市在住で、仕事が見つからない、家賃やライフラインの支払いなどに困りごとがあり、生活を維持することに課題を持つ方等を対象としています。

ご本人に限らず、ご家族等からのご相談もお受けしています。

相談は無料ですし、相談に関わる個人情報には守秘します。



▲自立相談支援センタースタッフの方々

受付時間 月曜日から金曜日までの8時30分～17時15分まで、祝日・年末年始を除きます。

問い合わせ先 太田市役所3階 TEL0276-48-8177 FAX0276-48-8178

冬号表紙

素敵な笑顔

知的障害者福祉施設の重度棟で支援員として働く小平さん。福祉という仕事にまつすぐ向き合い続けた3年間で、感じたことを語っていただきました。

※どのようなお仕事ですか？

入職してから3年間、重度棟を担当し利用者さんの身の回りのお世話をするのが主な仕事です。日中活動といった個々の利用者さんの状態に合わせた内職やトレーニングを行う作業プログラムでは、軽作業班を担当し、利用者さんの補助をしています。

時には、運動会やハロウィン、文化祭など季節ごとの行事の準備などもあります。利用者さんたちの笑顔が見られるので、我々職員も楽しみながらやっていますね。

※福祉を志したきっかけは？

小・中・高とずっと野球少年だった私ですが、介護職員である2人の姉や、病気が原因で車椅子生活を送るようになった母の存在が大きかったです。大学では福祉を学び、参加した介護の実習で実際の現場を目の当たりにしたときには、この仕事の大変さを思い知らされました。です



がその体験によって、「利用者さんに直接関わり支援したい」という思いが強まりました。

今の職場を選んだのは、敷地が広くのどかな環境が地元の雰囲気と似て馴染みがあり、「ここで働きたい」と感じたことが理由でした。大学時代の先輩も同じ職場にいたので、なんでも相談しやすく働きやすい環境ですね。

※仕事でやりがいを感じた瞬間は？

利用者さんに名前を覚えていただいたことですね。名前を覚えてもらうために、何度も自分からアプローチを続けました。担当している重度棟の方には、話したり、思いを発したりすることが困難な方もいらっしゃいます。その中で少しずつですが、利用者さんとの間に信頼関係が築けて、初めて名前を呼んでもらった時は嬉しかったですね。

※先輩にメッセージ

利用者さんの小さな変化に気づくことが大切な仕事です。自分から発信することが困難な利用者さんも多いので、思いを汲み取ることが、やっぱり難しいなと思います。命を預かる仕事なので、感じたこと、気づいたことは何でも先輩に聞くこと、相談すること。そういうコミュニケーションを大切にしてほしいですね。

※支援員として今後の抱負は？

利用者さんと接することはもちろんですが、職員同士も情報共有したりと、関わり合いが必要な仕事です。自分以後輩ができたときは、ちよつと今の先輩方のように、話かけやすく相談しやすい、プライベートでも仲良くなれる先輩になりたいと思います。

仕事で大切なのは職員同士のコミュニケーション。現場での息の合ったチームワークを強める秘訣は、週1回ある仲間との野球の時間にあるそうです。

福祉のお仕事への就職を応援します！

福祉人材確保就職面接会、ミニ就職面接会を開催します。～福祉のお仕事に関心のある方、ぜひご参加ください。採用担当者と直接話しをして、現場での仕事内容を詳しく知ることが出来ます～

保育の仕事・介護の仕事 ミニ就職面接会

保育士として働きたい方！介護職として働きたい方！
保育職・介護職以外、事業所の採用担当者とお話できるチャンスです！

日時 平成28年1月24日(日)
群馬県社会福祉総合センター6階 前橋市新前橋町13-12

保育の仕事
10:30～12:30 (受付開始10:00～)

介護の仕事
13:30～15:30 (受付開始13:00～)

採用面接担当者
就業履歴書の提出も
受け付けます

専用面接室
就業履歴書の提出も
受け付けます

福祉のお仕事

TEL: 027-255-6600 FAX: 027-255-6600

施設見学会

開催日時 平成28年1月27日(水)
10:30(集合)～15:00(解散)

見学先 ●もてぎ脳神経外科介護福祉センター(集合場所)
●特別養護老人ホーム シリウス(見学先)

10:30 もてぎ脳神経外科介護福祉センター 集合 → 地図(高崎市上小境町567)

当日の流れ
10:45 もてぎ介護福祉センターへ 見学
11:45 昼食 高崎のワゴン車で移動
13:00 「特別 シリウス」 見学
15:00 もてぎ介護福祉センターへ 解散

対象 福祉の職種に関心のある方、就業をお考えの方
定員 10名(要予約・先着順)
申込締切日 平成28年1月20日(水)

参加申込み方法
裏面をご覧ください。

福祉のお仕事

TEL: 027-324-2761 FAX: 027-320-8378

福祉の仕事 福祉のお仕事

ここで探してみませんか?
ミニ就職面接会 in 高崎

高齢・障害・児童施設が参加

日時 平成28年1月31日(日)
13:30開始(終了15:30)

会場 高崎市労使会館 3階ホール
高崎市東町80-1(高崎駅南口から徒歩5分)

参加対象 学生又は一般 ●福祉の仕事に関心のある方
●福祉分野に就職を希望する方

対象施設 ●高崎市(高崎地域) ●藤岡市

当日のご案内
①2F受付で「プロフィールカード」を記入
=お名前や希望分野等を記入して頂きます。
②3Fで希望する求人担当者と個別面談
=ブース形式で面談又は、施設説明が聞けます。
③3Fにて福祉のお仕事相談コーナー
=職員による資格取得相談等が出来ます。

お問い合わせ
高崎市社会福祉協議会 高崎市福祉人材バンク 高崎市東町80-1 ☎027-324-2761

福祉の仕事希望する方、従事者を募集する事業所の方は・・・

窓口は県内に3ヶ所

○群馬県福祉マンパワーセンター

TEL027-255-6600

〒371-8525 前橋市新前橋町13-12(県社会福祉総合センター6階)

○高崎市福祉人材バンク

TEL027-324-2761

〒370-0045高崎市東町80-1(高崎市労使会館1階)

○太田市福祉人材バンク

TEL0276-48-9599

〒373-0817太田市飯塚町1549(太田市福祉会館内1階)

ホームページ「福祉のお仕事」でも求人検索ができます。

パソコン版 <http://www.nw.fukushi-work.jp/>

福祉のお仕事

検索

モバイル(携帯電話)版 <http://www1.fukushi-work.jp/cool/m/>

福祉のお仕事 ミニ就職面接会

福祉の仕事をもっと探そう!!

日時 平成28年2月6日(土)
13:30～15:30(受付開始13:00～)

会場 桐生市総合福祉センター

参加費無料 入場自由 履歴書不要 申込不要

求人事業所コーナー
(面接・相談)
福祉職場の人事担当者と直接話せる
絶好のチャンスです

太田市福祉人材バンク
コーナー
●求職登録 ●その他の相談

お問い合わせ
社会福祉法人
太田市社会福祉協議会 太田市福祉人材バンク
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549番地 TEL・FAX 0276-48-9599

編集/発行
社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

〒371-8525 (専用郵便番号)

群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター内

TEL 027-255-6033(代表)

FAX 027-255-6173

URL <http://www.g-shakyo.or.jp/>

発行日 平成28年1月1日

「赤い羽根共同募金」について教えてください。

① はじまりは、1947年(昭和22年)に戦後の生活困難な人々を救済するための国民たすけあい運動としてスタートしました。その後「社会福祉事業法(平成12年に社会福祉法に改正)に規定され、民間の社会福祉の推進」のために活用されてきました。

② 現在では、高齢・貧困・障がいなど、さまざまな社会課題や地域課題を解決するための民間活動を支援する仕組みとして、また、みなさまのやさしさや思いやりを届ける運動として発展しています。

赤い羽根共同募金は、たくさんの方々のやさしさに支えられた「じぶんの町を良くするしくみ」です。

福祉まめ知識